

今回は200号特集として、40余年間の主なできごとを追いながら、統計データやOKB総研で実施している定期調査の結果をもとに、東海地域における変化を振り返ります。

(千人)

出所:総務省「国勢調査



出所：総務省「国勢調査



出所：総務省「国勢調査

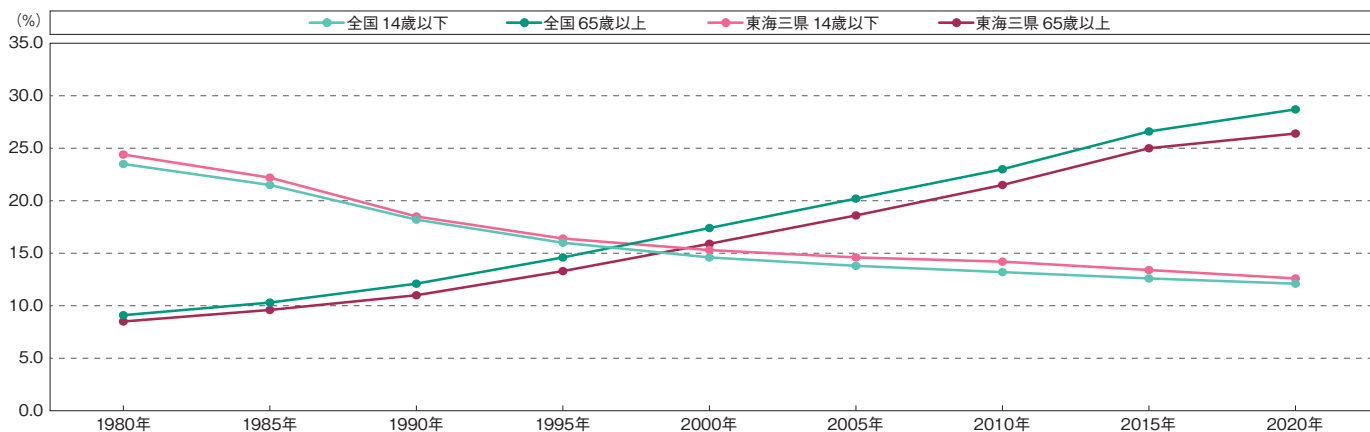


### ③人口(年齢3区分)

(年齢別構成比:%)

	全国			東海三県			愛知県			岐阜県			三重県		
	14歳以下	15～64歳	65歳以上	14歳以下	15～64歳	65歳以上	14歳以下	15～64歳	65歳以上	14歳以下	15～64歳	65歳以上	14歳以下	15～64歳	65歳以上
1980年	23.5	67.4	9.1	24.4	67.0	8.5	25.0	67.6	7.4	24.0	66.3	9.7	22.9	66.0	11.1
1985年	21.5	68.2	10.3	22.2	68.2	9.6	22.4	69.1	8.5	22.1	67.0	10.9	21.3	66.6	12.1
1990年	18.2	69.7	12.1	18.5	70.3	11.0	18.5	71.7	9.8	18.8	68.5	12.7	18.4	68.0	13.6
1995年	16.0	69.5	14.6	16.4	70.2	13.3	16.3	71.7	11.9	16.6	68.1	15.3	16.5	67.4	16.1
2000年	14.6	68.1	17.4	15.3	68.5	15.9	15.4	70.1	14.5	15.3	66.5	18.2	15.2	65.9	18.9
2005年	13.8	66.1	20.2	14.6	66.4	18.6	14.8	67.9	17.3	14.5	64.5	21.0	14.3	64.2	21.5
2010年	13.2	63.8	23.0	14.2	63.6	21.5	14.5	65.2	20.3	14.0	61.9	24.1	13.7	62.0	24.3
2015年	12.6	60.7	26.6	13.4	60.6	25.0	13.8	62.4	23.8	13.2	58.7	28.1	13.0	59.1	27.9
2020年	12.1	59.2	28.7	12.6	58.5	26.4	13.3	61.3	25.4	12.4	57.0	30.6	12.2	57.6	30.2

出所:総務省「国勢調査」



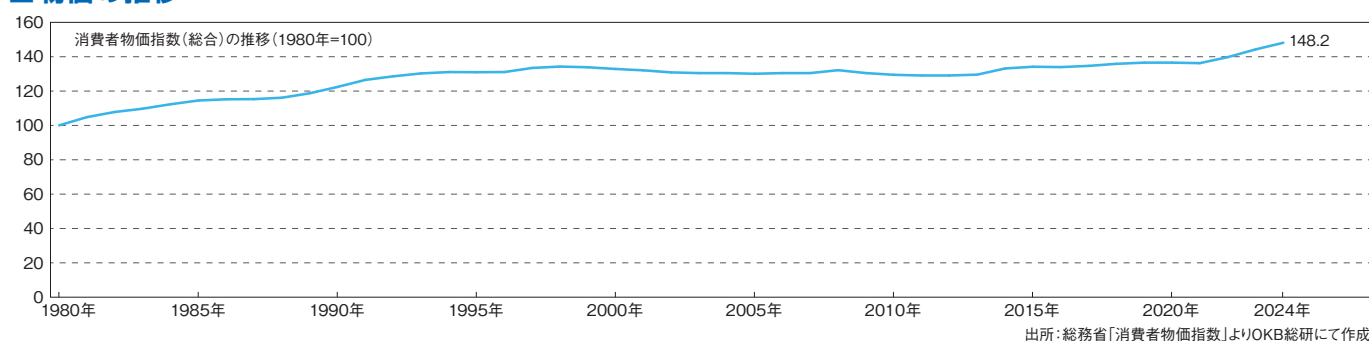
平成	
1989年12月	日経平均株価バブル最高値3万8915円87銭
1990年10月	東西ドイツ統一
1991年11月	雲仙普賢岳、約200年ぶりに噴火
1991年1月	湾岸戦争突入
1992年5月	信楽高原鉄道列車が正面衝突
1992年12月	ソ連11共和国、CIS創設協定に調印
1992年7月	地価抑制目的で地価税法公布
1993年7月	バルセロナ五輪開幕
1993年5月	ミニ新幹線第1号、山形新幹線開通
1993年6月	皇太子徳仁親王と小和田雅子さん結婚
1994年4月	志摩スペイン村開園
1994年6月	中華航空エアバス機、名古屋空港で墜落
1994年7月	松本サリン事件
1994年9月	金日成北朝鮮主席死去
1995年1月	関西国際空港開港
1995年1月	WTO発足
1995年3月	阪神・淡路大震災
1995年4月	地下鉄サリン事件
1995年11月	イスラエル・パレスチナ首脳暗殺
1996年12月	白川郷・五箇山の合掌造り集落が世界遺産登録
1996年3月	英国で狂牛病問題深刻化
1996年4月	スーパースター・オカシタ・観測開始
1996年7月	0-157、堺市の学校給食で大量感染
1997年7月	アトランタ五輪開幕
1997年12月	ベルー日本大使公邸占拠事件
1997年3月	ナゴヤドーム開場
1998年3月	秋田新幹線開通
1998年4月	消費税5%に引き上げ
1998年5月	神戸連続児童殺傷事件
1998年7月	アジア通貨危機
1998年10月	香港返還
1998年11月	長野新幹線(高崎～長野)開通
1998年11月	金融危機、山一證券北海道拓殖銀行など破綻
1998年2月	長野冬季五輪開幕
1999年4月	日本版金融ビッグバン始動
1999年7月	和歌山毒物カレー事件
1999年8月	ロシア経済危機
1999年1月	地域振興券交付開始
1999年9月	EU11ヶ国、ユーロ導入(通貨統合開始)
1999年1月	東海村で国内初の臨界事故

平成	
1999年11月	東証マザーズ開設
1999年12月	マカオ返還
2000年3月	移動電話の加入数が一般電話を上回る
2000年5月	中ドラゴンズ11年ぶり優勝
2000年6月	JRセントラルタワーズ全面開業
2000年7月	雪印乳業食中毒事件
2000年9月	2000円紙幣発行
2000年9月	シドニー五輪開幕
2001年2月	東海豪雨
2001年6月	大阪池田小学校児童殺傷事件
2001年7月	実習船えひめ丸、米原港で衝突し沈没
2001年9月	完全失業率が5%台に
2002年10月	米軍アフガンニスタンへ空爆開始
2002年4月	公立学校で完全週休2日制実施
2002年5月	雪印食品牛肉偽装事件
2002年9月	日韓サッカーW杯開幕
2002年12月	小泉首相が北朝鮮訪問
2003年3月	東北新幹線(盛岡～八戸)開通
2003年4月	日経平均株価、7607円88銭まで下落
2003年9月	米英軍、イラクと開戦
2004年12月	名古屋立てこもり放火事件
2004年1月	米でBSE感染牛確認、牛肉輸入を停止
2004年1月	中国でSARS感染を確認
2004年3月	山口県で鳥インフルエンザ発生
2004年7月	紀伊山地の霊場と参詣道が世界遺産登録
2004年11月	九州新幹線(新八代～鹿児島中央)開通
2005年2月	陸上自衛隊先遣隊がイラク復興支援に派遣
2005年3月	山梨県で鳥インフルエンザ発生
2005年4月	愛知万博(愛・地球博)開幕
2005年4月	中部国際空港セントレア開港
2005年10月	個人情報保護法全面施行
2006年12月	道路関係4公団民営化
2006年1月	日本の人口が統計開始以来初の減少
2006年3月	ライプツア事件発覚
2006年9月	日銀、量的緩和解除
2007年3月	安倍晋三首相誕生(戦後最年少)
2007年7月	新潟県中越沖地震
2007年3月	ミッドランドスクエア開業
2007年3月	中ドラゴンズ2年ぶり優勝
2007年9月	安部晋三首相誕生(戦後最年少)

(円) \_\_\_\_\_



## 160



平成	
2007年10月	郵政民営化
11月	サブプライムローン問題が顕在化
2008年5月	中ドラコンス53年ぶり日本一
6月	ふるさと納税スタート
7月	秋葉原通り魔事件
8月	アップルがiPhoneを日本で発売
9月	北京五輪開幕
10月	リーマン・ショック
2009年5月	日経平均株価一時7000円割り込む
6月	裁判員制度スタート
8月	新型インフルエンザが流行
2010年4月	衆院選で民主党圧勝、政権交代
9月	アイスランド火山噴火、欧州航空網混乱
12月	尖閣諸島沖で中国漁船衝突事件
2011年3月	東北新幹線（八戸〜新青森）開通
3月	東日本大震災・福島第一原発事故
7月	なでしこジャパン、W杯初優勝
8月	欧州債務危機が深刻化
10月	歴史的円高、1ドル＝75円32銭
2012年5月	ロンドン五輪開幕
7月	ロシアでプーチン大統領2度目の就任
2013年4月	日銀、異次元の金融緩和開始
9月	衆院選で自民政権奪還、安倍首相再登板
12月	中国習近平政権発足
2014年4月	消費税8%に引き上げ
7月	集団的自衛権を認める閣議決定
8月	広島土砂災害
9月	御嶽山が噴火
2015年1月	過激派組織「イスラム国」日本人質殺害事件
3月	北陸新幹線（長野〜金沢）開通
9月	安保関連法成立
2016年1月	COPI21でパリ協定採択
12月	マイナンバー運用開始
2016年1月	日銀マイナス金利導入
3月	北海道新幹線・新青森〜新函館北斗開通
3月	大名古屋ビルヂング建て替え全面開業
4月	熊本地震
令和	
2017年1月	トランプ米大統領就任
11月	米大統領選でトランプ氏返り咲き
7月	20年ぶり新紙幣発行（渋沢、津田・北里）
7月	パリ五輪開幕
3月	日経平均株価、初の4万円台到達
3月	日銀マイナス金利解除
3月	北陸新幹線（金沢〜敦賀）開通
2月	日経平均株価、34年ぶりにバブル期超え
2024年1月	能登半島地震
7月	世界で記録的猛暑
2023年3月	物価高本格化、賃上げ30年ぶり高水準
11月	ジブリパーク開園
9月	西九州新幹線（武雄温泉〜長崎）開通
9月	安倍元首相の国葬実施
7月	安倍晋三元首相銃撃事件
2022年2月	ロシアがウクライナに侵攻
2021年7月	東京五輪開催（1年延期・無観客）
4月	新型コロナウイルスの緊急事態宣言
3月	東京五輪、延期が決定
1月	英国がEU離脱
2020年1月	新型コロナウイルス感染拡大
10月	消費税10%に引き上げ
9月	ラグビーW杯日本大会開催
7月	京都アニメーション放火殺人事件
2019年4月	約200年ぶりの天皇退位、平成から令和へ
10月	中部国際空港（セントレア）拡張工事完了
9月	北海道胆振東部地震
7月	西日本豪雨
6月	成人年齢を18歳に引き下げる改正民法成立
2018年6月	史上初の米朝首脳会談
7月	九州北部豪雨
4月	JRゲートタワー開業
4月	レゴランド・ジャパン開業
4月	JPTower名古屋全面開業
2017年1月	トランプ米大統領就任
8月	リオデジャネイロ五輪開幕
6月	公職選挙法改正、選挙権年齢18歳に
5月	オバマ米大統領、広島訪問
2016年5月	G7伊勢志摩サミット開催

## レポート200号 までの軌跡

1983年 1月 1号発刊  
1996年 7月 共立総合研究所設立  
1997年 6月 スペシャルインタビュー 連載開始(57号～)  
新入社員の意識調査 掲載開始(57号～)  
1999年 2月 主婦の消費行動に関するアンケート 掲載開始(67号～)  
2004年 9月 100号発刊  
2009年 1月 OKB景況指数(旧K-REX) 掲載開始(126号～)  
2015年 7月 OKB総研へ社名変更  
2026年 1月 200号発刊



## 2. OKB総研の定期調査

OKB総研で実施している3つの定期調査の結果を、長期時系列で振り返る。

### ■OKB景況指数

2008年から3カ月毎に、OKB大垣共立銀行の支店長を対象に景況調査を行っている。2017年9月期調査より、「共立地域景況インデックス(K-REX)」から「OKB景況指数」へ名称変更した。

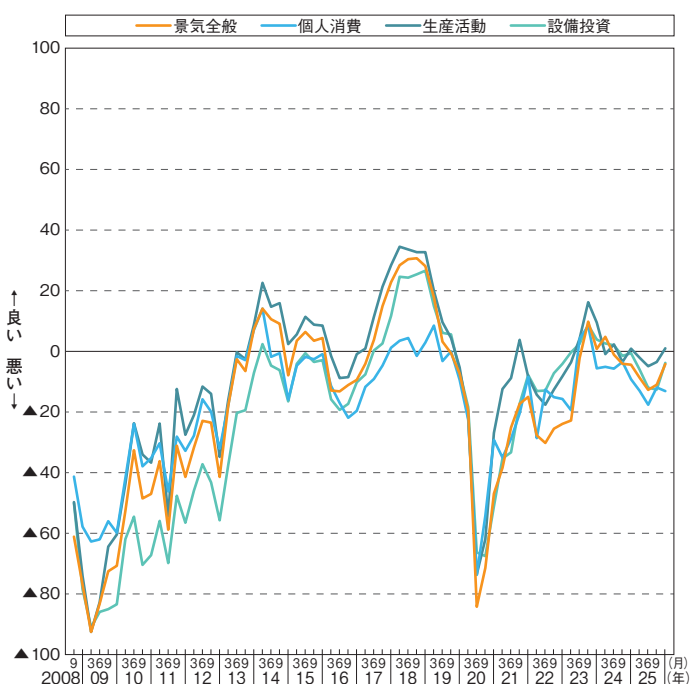
#### 項目別

- ・景気全般は2009年3月期にリーマン・ショックの影響で▲92.5となった。その後は回復に転じ、2018年頃にピークを迎え、30台まで上昇した。
- ・しかし、2020年には新型コロナウイルスの感染拡大を受けて▲80台まで急落した。その後は2023年9月期にかけて回復し、一時プラス圏に戻るも、再び低下傾向に転じ、2024年6月期以降はマイナス圏で推移している。

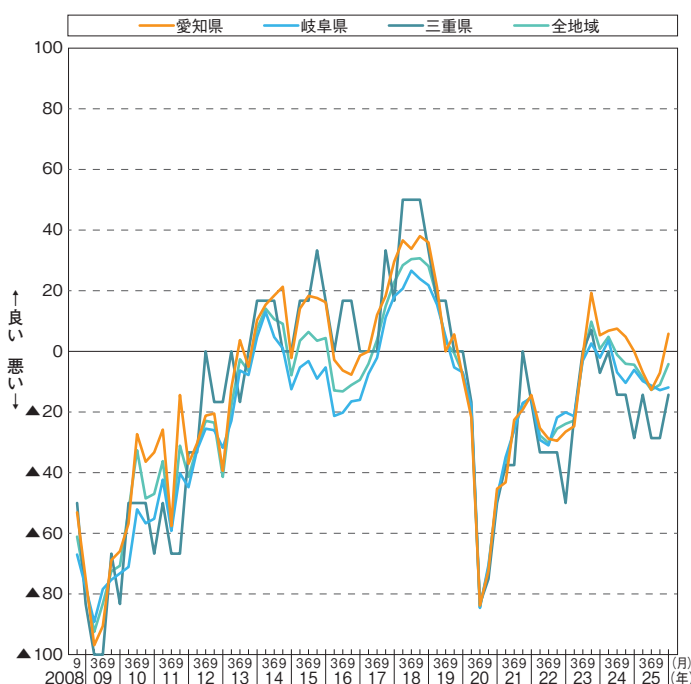
#### 県別(景気全般)

- ・県別の動きは概ね連動している。
- ・全体として、愛知県は岐阜県に比べて高い水準を示す傾向がある。

OKB景況指数(主要4項目)



OKB景況指数(県別、景気全般)



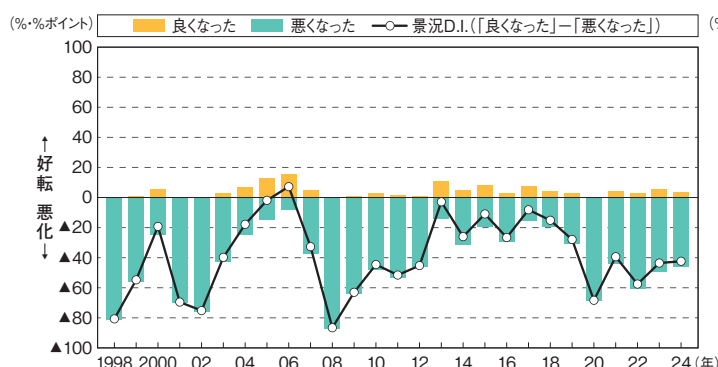
## ■主婦の消費行動に関するアンケート

1998年から毎年11月、大垣共立銀行の本支店を訪れた女性を対象に、景況感や消費行動についてのアンケートを実施している。2024年より調査対象を既婚女性から女性全体に拡大し、「女性の消費行動に関するアンケート」に名称を変更した。

### 景況感

- ・景況D.I.がプラスとなったのは2006年の7.2のみで、全体としてマイナス圏で推移している。特に1998年の金融危機期、2001年～2002年のITバブル崩壊期、2008年～2009年のリーマン・ショックおよび資源価格高騰期、2020年の新型コロナ感染拡大期には▲80前後まで急落した。
- ・2021年以降は物価上昇を背景に、コロナ前の2019年を下回る水準での推移が続いている。

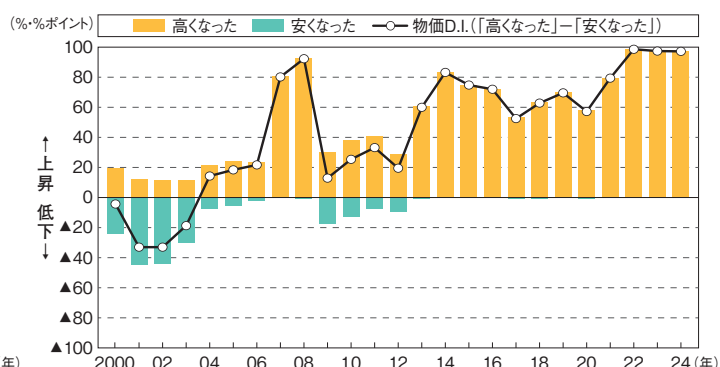
#### 1年前と比べた現在の景気



### 物価観

- ・物価D.I.は、2000年～2003年はマイナスとなったが、2004年にプラスに転じた。2007年～2008年は資源価格高騰に伴い急上昇し、80を超える水準となった。
- ・2009年以降は急騰前の水準に戻るも、2013年以降は上昇基調に転じた。2022年以降は物価上昇を受け、90以上の高水準での推移が続いている。

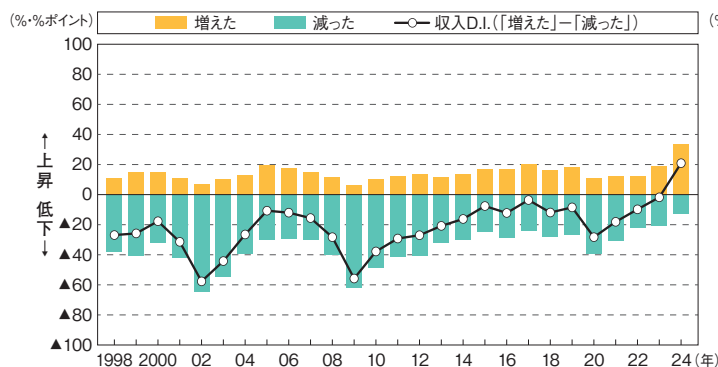
#### 1年前と比べた現在の物価



### 収入

- ・1998年～2023年の収入D.I.はマイナス圏で推移している。特に2002年と2009年には▲60近くまで急落した。2010年以降は徐々に改善し、プラス圏に近づいた。2020年はコロナ禍を受けて低下したものの、2002年や2009年ほどの大きな落ち込みは見られなかった。
- ・2024年は物価高や人手不足に伴う賃上げの広がりを受け、収入D.I.は過去27年間で初めてプラス圏となった。

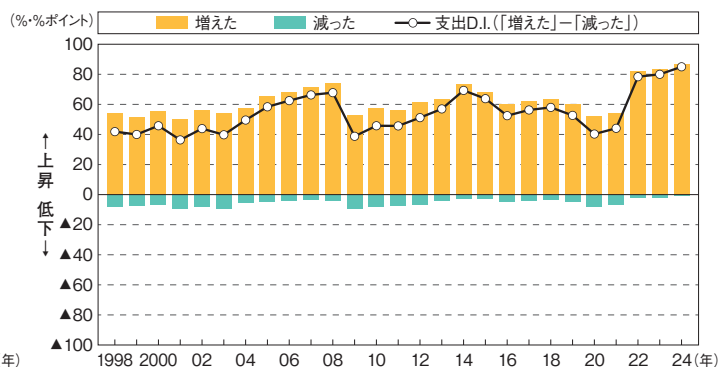
#### 1年前と比べた収入



### 支出

- ・支出D.I.は、ITバブル崩壊やリーマン・ショック、コロナ禍といった景気後退局面に伴う大きな落ち込みがほとんどなく、27年間プラス圏で推移している。
- ・2022年以降はコロナ後の経済活動の正常化や物価高に伴い、80前後の高水準での推移が続いている。

#### 1年前と比べた支出





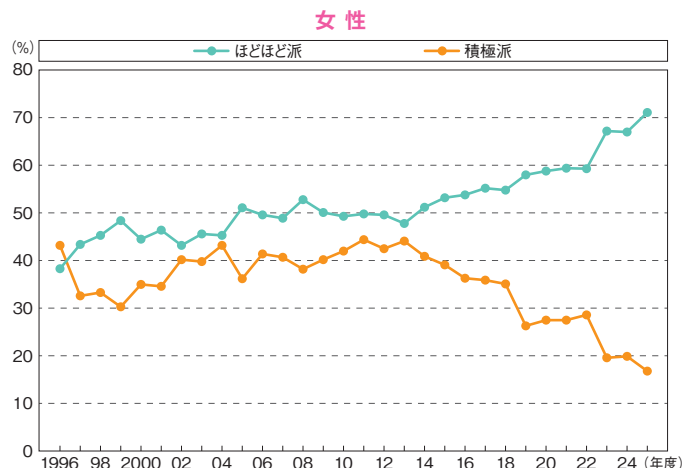
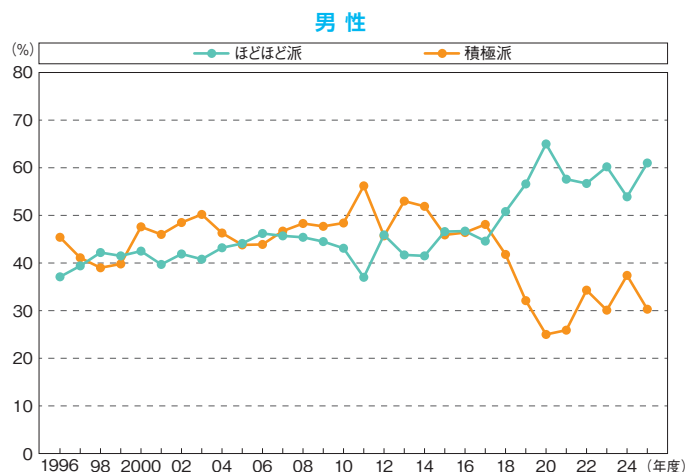
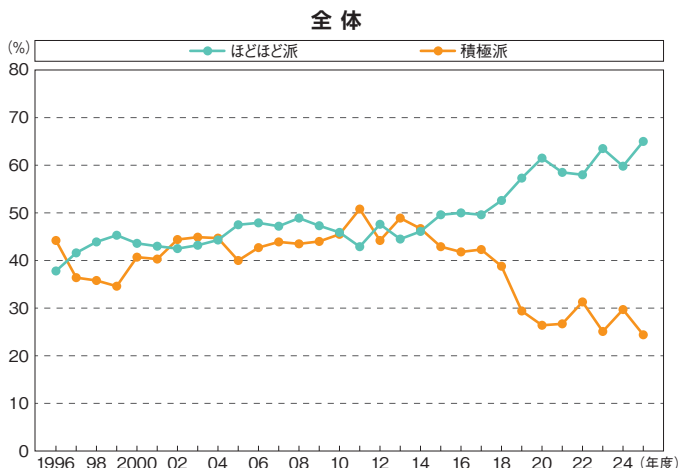
## ■新入社員の意識調査

1996年から毎年春、OKB総研が開催する新社員研修会の受講者を対象に、アンケートを実施している。

### 上司・先輩との人間関係

- ・「義理を欠かない程度に付き合いたい」(ほどほど派)と「プライベートも含め、積極的に付き合いたい」(積極派)は、2017年度にかけてほぼ同水準で推移していたが、2018年度以降、両者の差は拡大傾向にある。2025年度の結果を1996年度と比較すると、ほどほど派は+27.2ポイント、積極派は▲19.8ポイントと、30年で大きく変化している。
- ・男女ともに両者の差は拡大傾向にある。特に女性では、2014年度以降、この傾向が顕著に続いている。

#### 上司・先輩との人間関係(ほどほど派と積極派)の推移



### 理想の上司

- ・上位5位以内になった回数は、明石家さんまが23回で最も多くなっている。明石家さんまは2002年度以降、長期間にわたり5位以内を維持し続けている。
- ・次いで所ジョージが21回で、1997年度から2017年度まで上位5位以内にランクインしている。

- ・2025年度の1位である内村光良は、2018年度に初めて4位にランクインし、2024年度に1位へ浮上している。
- ・大谷翔平(2023年度から3年連続2位)など、スポーツや芸能界等で前年度に活躍した人が上位にランクインする傾向も見られる。

(敬称略)

#### 理想の上司(敬称略)

	順位	1997年度	1998年度	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
全体	1	長塚京三	長塚京三	所ジョージ	所ジョージ	星野仙一	所ジョージ	所ジョージ	所ジョージ	所ジョージ	所ジョージ	所ジョージ	所ジョージ	イチロー	所ジョージ
	2	所ジョージ	所ジョージ	北野武	星野仙一	所ジョージ	星野仙一	明石家さんま	星野仙一	明石家さんま	明石家さんま	明石家さんま	星野仙一	島田紳助	島田紳助
	3	長嶋茂雄	岡田武史	長塚京三	北野武	北野武	明石家さんま	北野武	明石家さんま	北野武	星野仙一	星野仙一	タモリ	所ジョージ	明石家さんま
	4	小林稔侍	北野武	森本レオ	長嶋茂雄	長嶋茂雄	北野武	星野仙一	北野武	星野仙一	松嶋菜々子	篠原涼子	島田紳助	タモリ	イチロー
	5	星野仙一	長嶋茂雄	星野仙一	長塚京三	松嶋菜々子	長嶋茂雄	松嶋菜々子	松嶋菜々子	松嶋菜々子	北野武	タモリ	明石家さんま	明石家さんま	タモリ

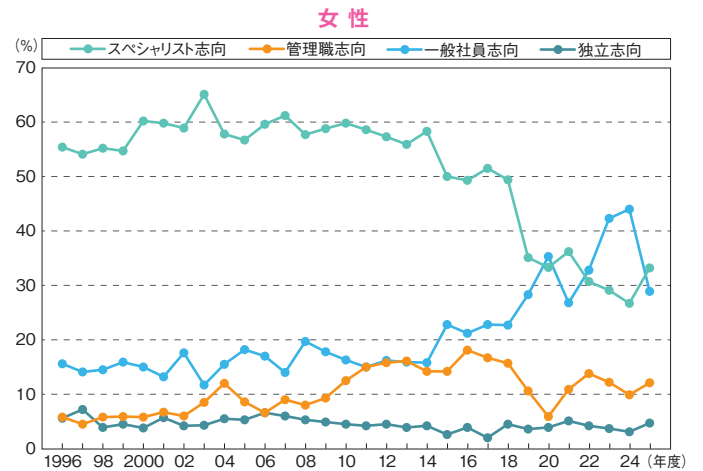
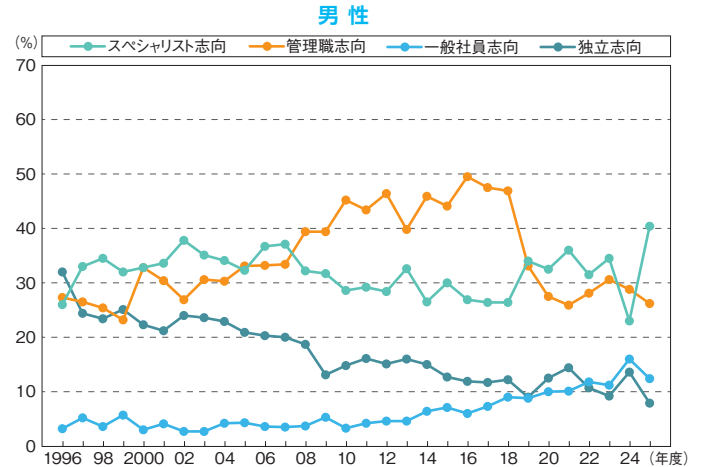
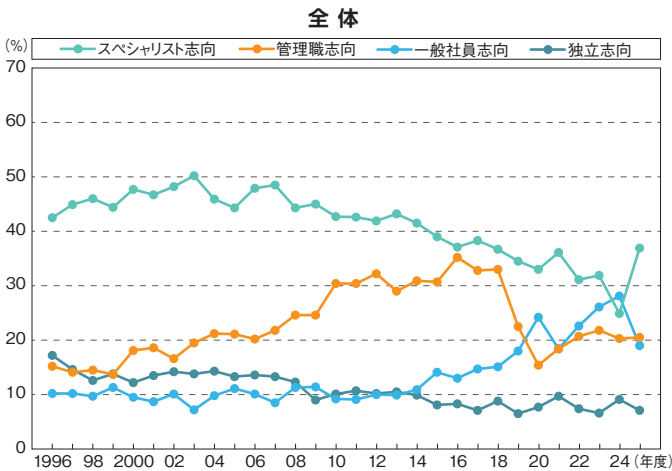
(※1) 上位5位以内に10回以上入った人、および直近3年間で上位3位以内に入った人を着色。

(※2) 2020年度については新型コロナウイルスの影響で回答数が少なかったため集計していない。

## 将来就きたい地位

- ・スペシャリスト志向は2003年度をピークに低下傾向となっている。
- ・管理職志向は2018年度まで上昇傾向にあったが、2020年度にかけて低下し、以降は横ばいとなっている。男女で水準や変動幅に差はあるものの、傾向は共通している。
- ・一般社員志向は2015年度以降、上昇傾向にある。男女で水準や変動幅に差はあるものの、傾向は共通している。
- ・独立志向は男性では過去30年間で低下傾向にある。女性では10%未満の低水準で推移している。

### 将来就きたい地位の推移



上位5位以内に  
なった回数  
(敬称略)

名 前	回 数
明石家さんま	23
所ジョージ	21
星野仙一	11
イチロー	11
北野武	10
天海祐希	10
内村光良	7
水ト麻美	7
タモリ	6

名 前	回 数
長嶋茂雄	5
松嶋菜々子	5
松岡修造	5
長塚京三	4
島田紳助	4
大谷翔平	3
櫻井翔	2
志村けん	2
森本レオ	1

名 前	回 数
堺雅人	1
アンミカ	1
小林稔侍	1
岡田武史	1
篠原涼子	1
池上彰	1
フリーザ	1
ムロツヨシ	1

	順位	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
全 体	1	所ジョージ	天海祐希	天海祐希	タモリ	所ジョージ	松岡修造	天海祐希	明石家さんま	明石家さんま	明石家さんま	明石家さんま	水ト麻美	内村光良	内村光良
	2	島田紳助	所ジョージ	明石家さんま	明石家さんま	明石家さんま	明石家さんま	明石家さんま	松岡修造	イチロー	水ト麻美	天海祐希	大谷翔平	大谷翔平	大谷翔平
	3	明石家さんま	明石家さんま	イチロー	天海祐希	イチロー	天海祐希	松岡修造	天海祐希	松岡修造	天海祐希	内村光良	明石家さんま	水ト麻美	明石家さんま
	4	イチロー	イチロー	所ジョージ	イチロー	天海祐希	所ジョージ	所ジョージ	内村光良	内村光良	内村光良	櫻井翔	内村光良	明石家さんま	水ト麻美
	5	池上彰	タモリ	北野武	堺雅人 所ジョージ	松岡修造	イチロー	水ト麻美	イチロー	水ト麻美	イチロー	水ト麻美	天海祐希 志村けん	櫻井翔 志村けん フリーザ ムロツヨシ	アンミカ

(2025.12.17) OKB総研 調査部 中澤大輔、梅木風香